

奈良県立大学附属高等学校の教育理念

育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

奈良県立大学附属高等学校は、探究科の単科高校として、生徒の主体性と創造性を尊重した「課題探究型教育」、「高度な高大連携に基づく教育」、「ライフキャリア教育」、「ICT活用教育」等を通して、新たな時代を切り拓くリーダーの育成を目指し、「自立した個人として他者や社会に貢献し、何事にも挑戦する（生徒綱領）」ような人間の育成を基本理念とします。「自立」とは自らの意思で主体的に行動し責任をもつこと、「貢献」とは他者や社会への関心をもち、課題解決のために自らの能力を発揮すること、そして、「挑戦」とは失敗を恐れず、新たなことや困難な課題に果敢に挑戦することです。こうして、奈良県立大学をはじめ多様な進路に進む生徒に必要な資質・能力が十分育成されるようにします。これを踏まえて、次の6点を備えた生徒を育成することを教育目標とします。

- (1) 既存の概念にとらわれず、自らの意思で主体的に行動し責任をもつ
- (2) 互いの価値観や好奇心を大切にすること
- (3) コミュニケーションの喜びを知る
- (4) 苦境にあってもその状況を克服するために果敢に挑戦すること
- (5) 地域社会への関心をもち、地域での活動に積極的に参加すること
- (6) 多様な文化を理解し、国際的な視野をもって行動すること

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程の編成方針】

探究科として、探究に必要な力を基礎から養うことを目標に、これからの時代に必要となる教養を学ぶ科目を設置し、様々な教科を誰もが満遍なく学んで教科横断的な学習を実現し、大学との高度な連携に基づく教育を実現します。

(1) 「課題探究」

1年生でアカデミックスキルの基礎を身に付けます。2年生では少人数指導により各自テーマを研究し、進路へとつなげる学習に取り組みます。2年生の終わりまでに各自最低1つの発表又は論文を完成させます。「情報Ⅰ」と「総合的な探究の時間」を合わせて実施します。

(2) 「データサイエンス」、「キャリアデザイン」

「データサイエンス」は、学校設定科目や数学科の科目を利用し、探究学習において、数学、統計、情報を合わせて活用するために必要な知識・技能を身に付ける授業を実施します。

また、3年間を通して社会の中で自己実現を図るために必要なリテラシーやスキルを身に付けるキャリア教育を実施し、特に2年生では外部機関との連携による全員必修の学校設定科目「キャリアデザイン」を設置します。

(3) 県大講義科目

高校での探究学習と社会を繋ぐ大学での学びを体験し、各自の探究をより一層広げ深める目的で、3年生の1年間を通して奈良県立大学キャンパスで科目履修生として大学の講義を受講します。

(4) 2学期制・45分授業

多様な学習活動を実現し、大学での学習と効果的に連携するため、2学期制・45分授業を実施します。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

【人材育成の目標】

「探究科」を設置し、生徒の主体性と創造性を尊重した「課題探究型教育」、「高度な高大連携に基づく教育」、「ライフキャリア教育」、「ICT活用教育」等を通して、新たな時代を切り拓くリーダーの育成を目指します。

【選抜方針】

地域社会の課題解決に貢献する意欲をもち、人間、社会、文化、科学技術等に対するバランスのとれた知識・関心と、客観的な判断力、論理的説明力を有する生徒を求めます。

【求める能力・適性】

- ・「探究科」での学びに対応できる基礎学力
- ・創造的・論理的な思考力、表現力
- ・失敗を恐れず新たなことや困難な課題に挑戦するチャレンジ精神、行動力
- ・豊かな人間性と知的好奇心

【入学者選抜】

- ・（推薦入試）調査書、志願書類、面接により、主体的に本校に入学する強い意志があるか、本校の教育に必要な能力・適性を持っているかをみます。
- ・（一般入試）独自の学力検査により、中学校教育課程における基礎的・基本的な知識・技能を身に付けているか、必要な資質・能力を持っているかをみます。また、本校を専願で志望する受検生については、本校で学ぶ強い意志と能力、適性があるかをみます。